

第3学年「国語」学習指導案

授業者 横内 智子

2月16日(木) 3階D室 9:00~9:40

- 1 単元名 わらい話を楽しもう
- 2 単元について

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな笑い話を探して読んで、そのおもしろさ味わう。</li> <li>○読んで感じたおもしろさを、友だちに伝わるように工夫して音読する。</li> </ul>
------	---

読書が大好きな子ども達で、朝の時間やちょっとした空き時間でも本を読んでいる児童も多い。3年生になって、学校の図書コーナー(図書室)で本も借りられるようになり、読書の量もさらに増えてきた。ただ、読んでいる本は、児童それぞれの好みで選んでいて偏りもあり、笑い話やとんち話などを自ら手にする児童はあまり見られない。そこで、日本に昔から伝わるいろいろな笑い話をたくさん見つけて読み、先人の知恵や機知に触れ、そのおもしろさを存分に味わう機会を作りたいと考えた。そのため、学校司書に依頼して、本校の図書コーナー(図書室)の蔵書の中から笑い話の収まった図書を拾い出してもらったところ、20冊ほど集まり、話の数としては相当な数になった。これらを2学期末から学年フロアに置いて、いつでも読めるようにしておいた。また、冬休み中には地域の図書館などでも探して、読んでおくように伝えた。このようにして読み親しむことによって、文字言語を通して話の展開や表現のおもしろさに気づき、笑い話の楽しさを味わってきた。

本単元では、これらをもとに、自分が読んで感じとった笑い話のおもしろさを、声に出して読んで表す活動を行い、そのためにはどのような工夫をしたらよいかを考えさせたい。一人で・ペアで・グループでの役割読みなどの読み方を選ぶ、声の大きさ・読む速さ・間の取り方を考える、さらに必要に応じて身振り・手振りを加える…など、友だちに伝えるためには様々な工夫が必要であることにも気づいてほしい。そして、声に表して読む側もそれを聞く側も、ともにそのおもしろさを共有して、笑い話の世界の楽しさを存分に味わってほしいと考えている。

3 学習指導計画(4時間目/全6時間+α)

- (0) いろいろな笑い話を自由に読み、おもしろかったところを書き留めておく。
- (1) 読んだ笑い話のおもしろかったところを紹介し合う。 (1時間)
- (2) 音読発表したい笑い話を選び、工夫して音読の練習をする。 (2時間)
- (3) 選んだ笑い話を、おもしろさが伝わるように音読し、感想を伝え合う。 (本時1/2時間)
- (4) 学習をふり返る。 (1時間)

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

おもしろいところが伝わるように音読発表して、笑い話のおもしろさや音読の工夫点について感想を伝え合う。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 本時のめあてを確かめて、音読練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人、ペア、グループでの役割読み等、おもしろさが伝わる読み方を自由に選ぶ。</li> <li>○声の調子・表情・身振り手振りなども工夫させたい。</li> <li>○前時や家庭学習で練習しておき、確認程度で済ませる。</li> </ul>
2 笑い話を音読発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聞き手は、どんなところがおもしろいのか考えながら聞く。</li> </ul>
3 友達の発表を聞いて、感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聞き終わったら、発表の感想をメモ書きする。メモをもとに、おもしろかったことについて、感想を伝え合う。</li> </ul>